

～ 海洋ゴミって何？ ～

〈海洋ゴミの原因〉

人々が海から遠く離れた道路や川などに捨てたゴミが、雨に流されたり風に吹かれたり下水を通ったりして海に流れ出したゴミを、海洋ゴミと言います。海洋ゴミの多くは、海から数百キロも離れた内陸部の都市で捨てられたものなのです。

海洋ゴミの原因は、その他にもたくさんあります。ビーチでピクニックをした時や釣りをした時に出たゴミのポイ捨てや、漁師さんたちが漁につかった網やロープをそのまま海に放置した物、また家庭や工場から出たゴミを直接海に捨てたものも、海洋ゴミになります。

こうして、毎年世界各地から海に流れ出した海洋ゴミが、すごい勢いで増えています。

海に流れ出したゴミは、近くを流れる海流に乗って海を漂いながら、遠く離れた地域や外国の海岸に流れ着きます。また、ゴミの一部は大きなかたまりとなり、海を漂います。それらの海洋ゴミは、海や海岸に生息する多くの生物や環境に悪い影響を与えています。



〈海洋ゴミの生き物や環境への影響〉

海洋ゴミの80%がプラスチックだと言われています。そのことから、私たちの生活でいかに多くのプラスチック製品が使われているかがわかります。プラスチックは、小さく分解されても完全にはなくなることはなく、海の浮遊物（ふゆうぶつ）としていつまでも海面に残ります。そして魚や鳥など海に住む生物が、プラスチックをエサと間違えて食べてしまいます。

たとえば海ガメは、レジ袋を大好きなクラゲと間違えて食べてしまいます。すると胃の中に入ったレジ袋は消化されず、海ガメは空腹感を感じることができなくなります。そしてエサを食べなくなり、栄養失調で死んでしまいます。また、プラスチックや発泡スチロールを飲み込んだ海ガメは、お腹に浮きを入れた状態になって海の中に潜（もぐ）ることができないので、エサを取れなくなります。

また海岸にすむ鳥は、プラスチックの破片を魚と間違えて食べてしまいます。そしてひな鳥にもプラスチックをエサとして与えてしまいます。死んだ鳥の胃の中からは、消化されずに残ったたくさんのプラスチック製品が見つかりました。驚いたことに、ライターやゴルフボールなども見つかっています。

そのほか、釣り糸をはじめロープや綱は、カメやアザラシなどの生物の体に絡（から）まります。そして体の一部を切断したり、動けなくなって死んでしまいます。

また、海水浴に来た人たちも、海岸に流れ着いたガラスビンやとがったゴミのかけらでケガをしてしまいます。



(写真提供：NOAA)

このように私たち人間の出すたくさんのゴミが、海の景観をそこなうだけでなく、海に住む生物や自然に大きな被害を与えているのです。

これらの海洋ゴミを清掃するには、多くの費用がかかります。また海洋ゴミは、これからも益々増え続けると予想されています。私たちは海洋ゴミがこれ以上増えないように、生活の中でゴミを減らす工夫や、ゴミが海へ流れていかないようにする方法を真剣に考えなければいけません。



ポイント1：海洋ゴミの多くは、川や下水道から海に流れ出したものである。

ポイント2：海洋ゴミの80%は、プラスチック製品である。

ポイント3：海洋ゴミは海や海岸に住む生物にとって、とても危険なものである。

ポイント4：海洋ゴミは、世界中で毎年すごい勢いで増えている。

ポイント5：海洋ゴミを減らす工夫をしなければならない。

(©宮古島キッズネット)